



瀧小だより

上越市立大瀧町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和4年9月



どんな見出しがいいかな

当校では昨年度から、前向きに学習するためにNIE（新聞活用教育）を推進しています。9月12日に、1年2組で国語「ヤギさんしんぶんをつくろう」の研究授業が行われました。

1年生は、7月に2頭のヤギ、ゆきちゃんとおちゃんを迎え、生活科の学習の一環として毎日、熱心に世話をしています。そこでの気づきをまとめ、紹介するために「ヤギさんしんぶん」を作ることになり、一人一人が短い記事を書きました。

授業ではまず、見出しが隠されている子供新聞の記事が提示され、見出しとして必要な条件をクイズ形式で学びました。次に、自分の記事に見出しを付け、班ごとにまとめたものを他の班の人に読んでもらい、分かりやすく、記事を読みたくなる見出しを発表し合いました。上の写真では、頭を寄せ合い、まさに前向きに学習している様子が伝わってきます（コロナ禍ですが近距離なのは短時間なので御容赦を）。

今後、今回の記事とヤギの写真を班ごとに貼り合わせ、「ヤギさんしんぶん」にまとめていきます。それを他学級、保護者や地域の人にも読んでもらい（学習成果の発信）、伝える喜びを味わわせたいと思います。

校時表の見直し

1 学期まで			【2 学期以降】		
8:15～ 8:30	朝の会 朝活動	➡ ①	8:15～ 8:25	朝の会	① 「朝学習」を新設
5分			8:25～ 8:40	朝学習	
8:35～ 9:20	1限		8:40～ 9:25	1限	
5分			5分		
9:25～10:10	2限		9:30～10:15	2限	
20分	中休み		15分	中休み	
⋮			⋮		
12:05～12:50	給食準備 給食	➡ ②	12:05～12:45	給食準備 給食	② 給食準備を5分短縮
40分	昼休み		45分	昼休み	
13:30～13:45	昼休み延長 (木曜のみ)	➡ ③	13:30～13:45	絆タイム (木曜のみ)	③ 木曜日昼休み後に 15分の「絆タイム」

① 朝の会と1限の間に15分の「朝学習」を新設

学年や学級での取組実態があいまいだった「朝活動」をなくし、学力向上や人間関係づくり能力の向上と、放課後の職員の業務時間確保のため、15分の「朝学習」を新設しました。漢字や計算などの基礎学習や学級活動を行います。3回の実施で1校時に相当する45分となるため、授業時数にカウントし、2～6年で週あたり1コマの授業を減らすことができました。

② 給食準備を5分短縮し、昼休みを45分確保

子供たちは4限が終わった開放感から、給食準備を始めるまでに時間が掛かっていました。学級担任は12:05の時刻どおりに4限の授業をやめ、学級全体で意識と行動の切替えをはっきり行うことで時間の無駄を省き、12:45には給食の時間を終えられるようになりました。昼休みも5分伸び、45分間になりました。

③ 木曜昼休後の15分に「絆タイム」を実施

これまで、木曜日は昼休み後の清掃がなく、「ロングの昼休み」として子供たちは自由に過ごしていました。しかし、学校生活の中でけんかやいじめなど、人間関係のトラブルが絶えず、子供自身がそれを防いだり解決したりすることができないという課題が見えてきました。そこで、この15分間を学級みんなで楽しみ人間関係を深める「絆タイム」としました。朝学習の1回を当てている学級活動の時間とも関連付けて、相互理解を促進するゲームやアクティビティを行い、思いやりの心や協力性・協調性を長期的な視野で育むことをねらっています。

○ チャイムの廃止

一日の始業や終業、中休みや昼休み終了間近の予鈴として鳴らしていたチャイムをなくしました。自分で時計を見て、時間を守る行動が行き渡るようにするためです。実施初日から混乱もなく、スムーズに移行できました。

2 学期の主な教育活動の変更点

○ ジャンボ学習発表会の中止

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、連日それに関連した欠席者が多数います。また、校内での感染拡大を防ぐために、飛沫が飛ぶリスクの高いリコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏、合唱などを制限しています。

当校の学習発表会は、学年全体での音楽発表が中心になるので、練習ができない状況です。また、発表会を行うと仮定し、学年別に参観者を入れ替えたとしても、児童と保護者を合わせると相当数の人たちが体育館に集まることとなります。

これらのことから、とても残念ではありますが、ジャンボ学習発表会を中止することにしました。保護者や地域の皆様には、子供たちの学習成果を御覧いただく貴重な機会ではありますが、何とぞ御理解ください。

○ マラソン大会の廃止

持久力を伸ばし、目標に向かって頑張る強い心を養うことをねらって、従来からマラソン（持久走）大会や記録会が行われてきました。そして、記録の向上や上位入賞によって大きな達成感を味わえる行事でもありました。一方で、苦しさのため多くの子供たちがなかなか意欲的になれない体育の時間でもありました。

生涯にわたって心身の健康を保持し豊かなスポーツライフを送るためにも、走ることで持久力を向上させるのは、人々の考え方が多様になった現在においては偏っていると思えます。心肺機能を高め、動きを持続する力を高めるために、縄跳びやエアロビクス、ウォーキングを取り入れることも可能です。子供が運動を楽しみ、生涯スポーツにつながる体育の授業づくりをしていきます。

なお、9 月下旬から 10 月中旬頃に予定している持久力向上を目指す期間の終わりには、シャトルランを行い、春の体力テストの結果と比較します。

○ 上越市小学生親善陸上競技大会の変更

10 月5日に、3年ぶりに開催されます。コロナ対応と課外活動（部活動）の見直しにより、上越市小学校体育連盟では、以下のように実施する決定をしました。

- ・参加者 6年の選手のみ
- ・会場 高田公園陸上競技場
- ・種目及び出場枠 100m（男女各学級数＋1人）
800m（女子1人） 1500m（男子1人）
走り幅跳（男女各1人）
4×100mリレー（男女各4人、他種目と重複可）

当校では体育の時間を中心に練習し、男女各5～7人程度が選抜され、大会に出場する予定です。

学校ホームページで教育活動を紹介しています。顔が大きく映る写真や個人名は出せませんが、各学年週1回更新に努めます。是非、御覧ください。

